

重車両用ブロック

STRONG PAVE

ストロングペイブ

栄町本陣通り

ゾーン30

最高速度30kmのコミュニティ道路

四国中央市道 港通栄町線美装化舗装工事

『ゾーン30のコミュニティ道路』に採用

愛媛県四国中央市は穏やかな瀬戸内海に面した東端に位置し、香川県・高知県・徳島県と他の3県に接しており交通の要衝です。自生するコウゾや豊かな水を背景に江戸時代から製紙業が盛んで現代では日本屈指の製紙産業地帯となっております。今回、四国中央市道 港通栄町線美装化舗装工事(ゾーン30エリア)でインターロッキングブロックの常識を破った重車両用ブロック【ストロングペイブ】並びに分離用白線ブロック【パールライン】を採用いただきました。



■ペイブブロック



webカタログもご覧下さい





①ストロングペイブ

②パールライン

ガラスビーズの持つ再帰反射効果が通行者に注意を喚起します。

四国中央市道 港通栄町線美装化舗装工事

『ゾーン30とは』

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて最高時速30キロメートルの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

(警察庁交通局「ゾーン30」の概要より)

- ①安全な歩行空間の確保
道路の両側に路側帯を設け、分離白線(パールライン)を入れ、さらに車道と色分けし視認性を向上させています。
- ②車両の速度抑制
・センターラインは設けず、1車線化しています。
・両側の路側帯と分離白線により有効車道幅員を狭くしています。
・車道にも舗装ブロック(ストロングペイブ)を施工し、ドライバーに視覚的に注意を喚起するとともに、ハンドルに伝わる振動により車両の速度抑制を図っています。



栄町本陣通りより川之江城天守閣をのぞむ



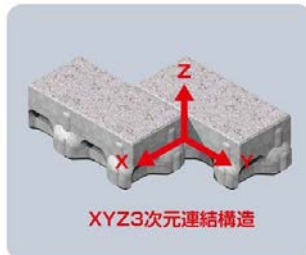
規制標識
栄町本陣通り



裏面凹凸でX↔Y水平方向に連結



側面凹凸でZ↑垂直方向に連結



Strong Point 水平、垂直の強固な3次元連結構造

従来のインターロッキングブロック舗装の弱点であった車両走行による水平、垂直方向のズレやわだちを画期的な3次元連結構造で抑制する待望のペイブロックの誕生です。
輪荷重分散性の高い100mm×200mmサイズは、3次元連結構造と組み合わせることで、路面の安定性をより確かなものにします。
シンプルな表面形状であらゆるシーンでの景観性も兼ね備えております。

■ペイブロック



webカタログもご覧下さい

現場住所 愛媛県四国中央市

施主名 四国中央市役所

竣工年月 2018年8月

納入製品 ① ストロングペイブ 900㎡

ブラウン・オレンジ・イエロー・グレー

② パールライン 約230m